



# 平成22年9月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成22年5月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ダイナック

コード番号 2675 URL <http://www.dynac.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若杉 和正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 法務・総務部長 (氏名) 大和田 雄三

TEL 03-3341-4216

四半期報告書提出予定日 平成22年5月13日

配当支払開始予定日

平成22年6月14日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年9月期第2四半期の業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	17,653	8.5	331	37.8	293	49.1	157	
21年9月期第2四半期	19,286		240		196		8	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	22.36	
21年9月期第2四半期	1.17	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	16,351	3,833	23.4	545.13
21年9月期	17,378	3,746	21.6	532.75

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 3,833百万円 21年9月期 3,746百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期		0.00		10.00	10.00
22年9月期		5.00			
22年9月期(予想)				5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年9月期の業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,900	7.6	690	92.0	600	121.6	180		25.59

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無  
以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第2四半期	7,033,000株	21年9月期	7,033,000株
期末自己株式数	22年9月期第2四半期	88株	21年9月期	88株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年9月期第2四半期	7,032,912株	21年9月期第2四半期	7,032,912株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、世界的な金融市場の混乱が落ち着き始め、政府の経済対策などにより景気の一部に持ち直しの兆しが見られるものの、本格的な景気回復には至らず、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にあります。

外食業界におきましても、雇用不安や個人所得の減少などにより先行き不透明感は払拭されず、個人消費の冷え込みや外食頻度の減少、低価格志向の高まりによる業界内での低価格競争の激化など、経営環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社は、常に「お客様感動満足提供企業」を目指すとともに、世の中の変化やお客様の変化に対応した現場力の強化を図り、より一層の食の安心・安全の追求と商品・サービスの提供価値を高めてまいりました。

当第2四半期累計期間における新規出店は、串焼きと鶏料理「鳥どり」、新業態のパブ「RCタバーン」、旬魚・串揚げ居酒屋「咲くら」、及びゴルフ場レストランなどの計8店舗を出店し、一方で不採算店舗や契約先の事由などにより20店舗を閉店いたしましたので、当第2四半期累計期間末の店舗数は247店舗となりました。

当第2四半期累計期間における業績につきましては、お客様の来店頻度を高めるため「倶楽部ダイナック(顧客会員カード)」のポイント特別加算や、創業51周年大感謝キャンペーンなどの全社的な販売促進の強化に取り組み、売上の拡大に努めましたが、客単価の減少や不採算店舗の撤退による店舗数の減少などにより、売上高は17,653百万円(前年同期比8.5%減)となりました。利益面ではFL(材料費・労務費)コストのコントロールや販売費及び一般管理費の削減効果により、経常利益は293百万円(前年同期比49.1%増)となりました。また、上記に加え税金費用軽減などの影響もあり、四半期純利益は157百万円(前年同期純利益8百万円)となりました。

事業部門別の概況は以下のとおりです。

レストラン・バー事業の出店・閉店及び業績の概況は、ほぼ前述でご説明のとおりであり、売上高は16,182百万円(前年同期比9.4%減)、売上総利益は1,810百万円(前年同期比10.1%減)となりました。

ケータリング事業は、法人需要などの掘り起こしに努め、売上高は380百万円(前年同期比3.8%減)、売上総利益は47百万円(前年同期比7.2%増)となりました。

その他の事業は、高速道路通行料金の割引などによる、サービスエリアの売店収入などが好調に推移し、売上高は1,090百万円(前年同期比5.3%増)、売上総利益は181百万円(前年同期比20.6%増)となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は16,351百万円となり、前事業年度末と比べ1,027百万円の減少となりました。その主な増減内容につきましては、以下のとおりです。

流動資産は、前事業年度末と比べ184百万円の減少となりました。これは主に売掛金160百万円が減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べ842百万円の減少となりました。これは主に不採算店舗の撤退などにより、有形固定資産200百万円、敷金及び保証金486百万円が減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末と比べ1,114百万円の減少となりました。これは主に借入金720百万円、買掛金151百万円、未払費用98百万円が減少したことによるものです。

純資産は、前事業年度末と比べ87百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金86百万円が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末より1.8ポイント増加の23.4%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ37百万円増加の259百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、644百万円(前年同期は661百万円の資金獲得)となりました。これは主に税引前四半期純利益257百万円、減価償却費381百万円、売上債権の減少162百万円に対し、仕入債務及び未払費用の減少229百万円があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、183百万円(前年同期は2百万円の資金使用)となりました。これは主に新規出店に伴う設備、敷金及び保証金の支出201百万円に対し、敷金及び保証金の回収による収入476百万円があったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、790百万円(前年同期は482百万円の資金使用)となりました。これは主に短期借入金の減少320百万円と長期借入金の返済による支出400百万円によるものです。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

## (通期業績見通し)

平成22年9月期の業績予想は次のとおりです。

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	36,500	690	600	140	19円91銭
今回修正予想(B)	34,900	690	600	180	25円59銭
増減額(B-A)	1,600	-	-	40	-
増減率(%)	4.4	-	-	28.6	-
(ご参考)前期実績 (平成21年9月期)	37,768	359	270	848	120円63銭

売上高は閉店の前倒しや来客数の伸び悩み等により減収の見込みとなりました。利益面では売上減少による利益減を、FL(材料費・労務費)コスト削減と販売費及び一般管理費の効率化・最適化等でカバーすることにより、営業利益・経常利益ともに当初予想に変更はありません。当期純利益につきましては、税金費用の軽減などにより増益となる見通しです。

なお、上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

#### 4. その他

##### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

##### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### 表示方法の変更

###### (四半期損益計算書)

前第2四半期累計期間において、営業外収益の「その他」に含めておりました「受取補償金」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため区分掲記しました。なお、前第2四半期累計期間における「受取補償金」は、92千円であります。

前第2四半期累計期間において、店舗等の撤退の意思決定に伴う損失を「店舗閉鎖損失」として表示しておりましたが、より明瞭に表示するため「店舗等撤退損失」として表示することにしました。

###### (四半期キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期累計期間において、店舗等の撤退の意思決定に伴う損失を営業活動によるキャッシュ・フローの「店舗閉鎖損失」として表示しておりましたが、より明瞭に表示するため「店舗等撤退損失」として表示することにしました。

前第2四半期累計期間において、店舗等の撤退に伴う支出を投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりましたが、金額的に重要性が生じたため「店舗等撤退による支出」として表示することにしました。なお、前第2四半期累計期間における「店舗等撤退による支出」の金額は27,374千円であります。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	259,103	221,245
売掛金	1,594,388	1,754,394
商品	33,172	40,448
原材料及び貯蔵品	171,918	202,472
その他	680,321	724,611
貸倒引当金	90,000	110,000
流動資産合計	2,648,904	2,833,172
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,997,327	5,096,693
その他(純額)	632,331	733,472
有形固定資産合計	5,629,659	5,830,165
無形固定資産	69,272	65,383
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,295,841	6,782,216
その他	2,088,965	2,178,597
貸倒引当金	381,573	311,444
投資その他の資産合計	8,003,234	8,649,368
固定資産合計	13,702,166	14,544,917
資産合計	16,351,071	17,378,090

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,524,896	1,676,707
短期借入金	2,380,000	2,700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,600,000	1,900,000
未払法人税等	76,000	82,000
未払費用	1,533,858	1,631,918
賞与引当金	226,000	226,000
役員賞与引当金	14,000	4,400
その他	383,775	540,612
流動負債合計	8,738,529	8,761,637
固定負債		
長期借入金	2,300,000	3,400,000
退職給付引当金	1,324,206	1,318,085
役員退職慰労引当金	63,350	56,928
その他	91,136	94,636
固定負債合計	3,778,693	4,869,651
負債合計	12,517,223	13,631,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,741,625	1,741,625
資本剰余金	965,175	965,175
利益剰余金	1,124,212	1,037,303
自己株式	99	99
株主資本合計	3,830,913	3,744,003
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,935	2,797
評価・換算差額等合計	2,935	2,797
純資産合計	3,833,848	3,746,801
負債純資産合計	16,351,071	17,378,090

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	19,286,976	17,653,754
売上原価	17,079,557	15,614,615
売上総利益	2,207,418	2,039,139
販売費及び一般管理費	1,966,549	1,707,242
営業利益	240,868	331,896
営業外収益		
受取利息	574	410
受取配当金	176	176
保険事務手数料	948	939
受取補償金	-	2,222
違約金収入	2,398	-
法人税等還付加算金	2,354	-
その他	2,276	1,051
営業外収益合計	8,728	4,799
営業外費用		
支払利息	49,244	40,994
その他	3,572	2,319
営業外費用合計	52,817	43,313
経常利益	196,780	293,382
特別利益		
固定資産売却益	7,000	8,047
貸倒引当金戻入額	11,126	-
特別利益合計	18,126	8,047
特別損失		
固定資産除却損	26,527	7,208
減損損失	60,179	-
店舗閉鎖損失	35,687	-
店舗等撤退損失	-	35,532
その他	1,600	1,580
特別損失合計	123,994	44,321
税引前四半期純利益	90,913	257,109
法人税、住民税及び事業税	34,497	32,910
法人税等調整額	48,176	66,960
法人税等合計	82,673	99,870
四半期純利益	8,239	157,238



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	90,913	257,109
減価償却費	493,380	381,078
減損損失	60,179	-
店舗閉鎖損失	35,687	-
店舗等撤退損失	-	35,532
賞与引当金の増減額(は減少)	7,000	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,408	50,128
受取利息及び受取配当金	750	587
支払利息	49,244	40,994
売上債権の増減額(は増加)	78,334	162,116
たな卸資産の増減額(は増加)	8,415	37,830
仕入債務の増減額(は減少)	173,656	151,811
未払費用の増減額(は減少)	89,285	77,622
その他	76,626	14,734
小計	653,998	720,033
利息及び配当金の受取額	750	587
利息の支払額	49,745	42,632
法人税等の還付額	77,543	-
法人税等の支払額	21,086	33,910
営業活動によるキャッシュ・フロー	661,460	644,078
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	340,576	185,221
敷金及び保証金の差入による支出	22,225	15,925
敷金及び保証金の回収による収入	398,899	476,251
店舗等撤退による支出	-	105,218
その他	38,988	14,096
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,890	183,982
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	430,000	320,000
長期借入金の返済による支出	-	400,000
配当金の支払額	52,578	70,202
財務活動によるキャッシュ・フロー	482,578	790,202
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	175,990	37,857
現金及び現金同等物の期首残高	179,505	221,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	355,496	259,103

( 4 ) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. その他の情報

当第2四半期累計期間の販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第2四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)	前年同期比
	(千円)	(%)
レストラン・バー事業	16,182,621	90.6
ケータリング事業	380,960	96.2
その他の事業	1,090,173	105.3
合計	17,653,754	91.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

なお、当第2四半期累計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりであります。

地域別	当第2四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)	前年同期比
	(千円)	(%)
東京都	7,890,624	90.4
埼玉県	519,309	84.2
千葉県	536,261	110.0
神奈川県	883,979	91.6
滋賀県	473,224	73.6
大阪府	3,103,236	90.2
兵庫県	2,223,149	96.5
その他の府県	2,023,968	96.2
合計	17,653,754	91.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。